

平成○年度
年次報告書（案）

平成○年○月
富士山世界文化遺産協議会

※今年度の結果欄には、報告書様式の検討のため、参考値として平成 25 年度の実績を記載し、前年度欄は平成 24 年度の実績を記載している。

目 次

1 基本情報 3

2 保護（指定等）状況 4

3 「資産及び周辺環境の保護」等に関する観察 5

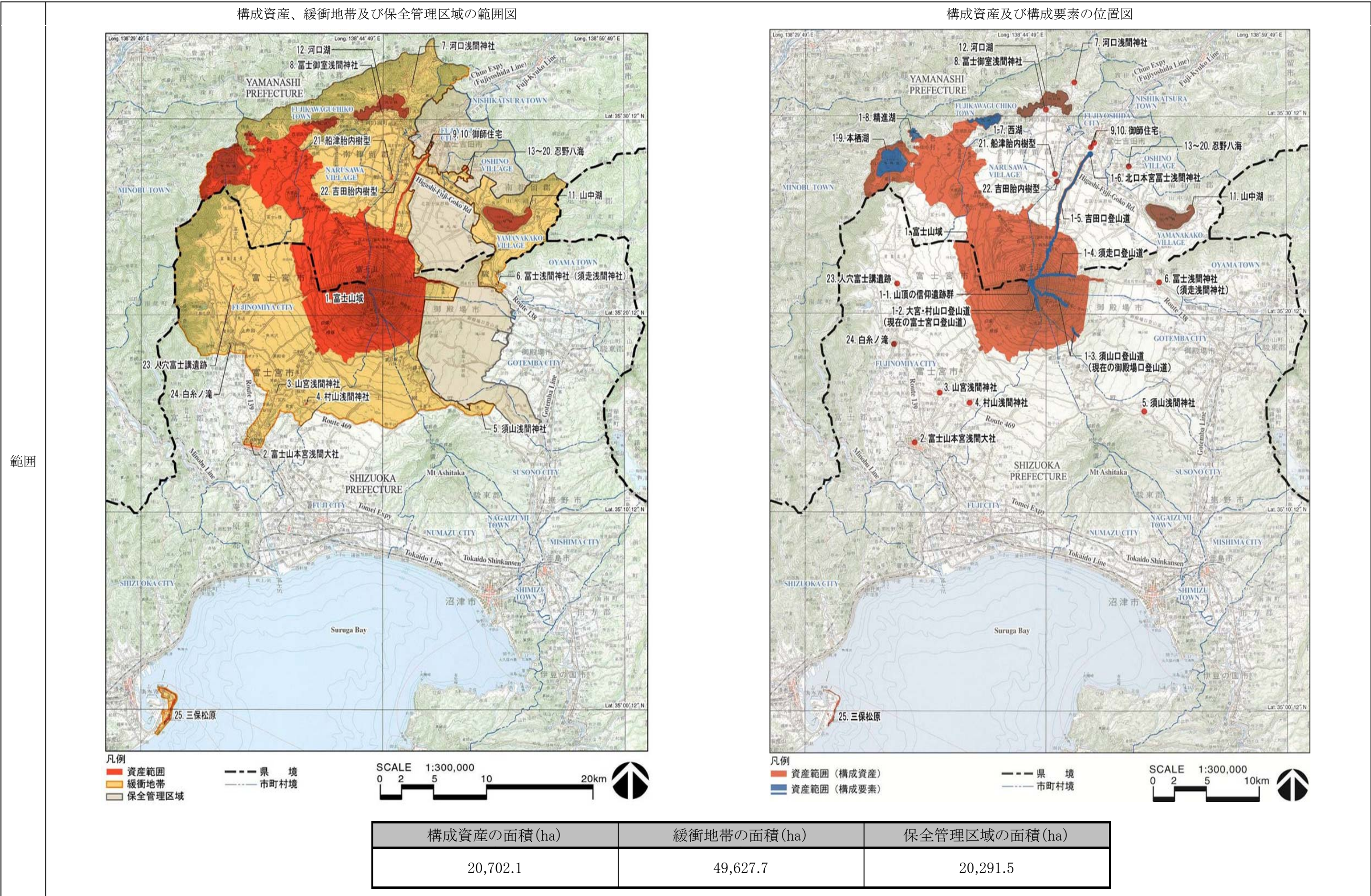
4 「顕著な普遍的価値の伝達」に関する観察 9

5 構成資産内の整備事業等の実施 11

6 緩衝地帯における開発計画 11

7 総括(評価) 12

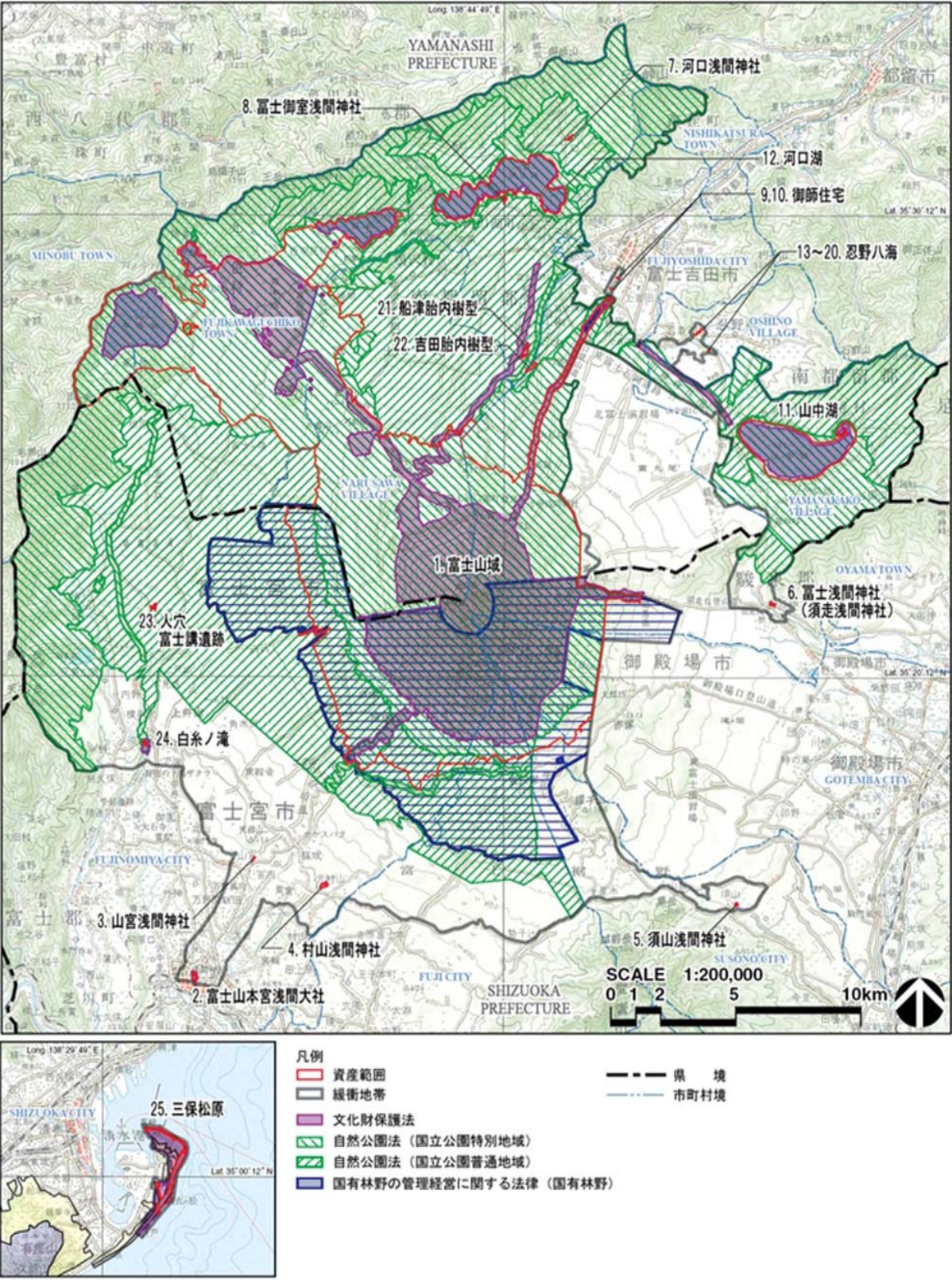
1 基本情報



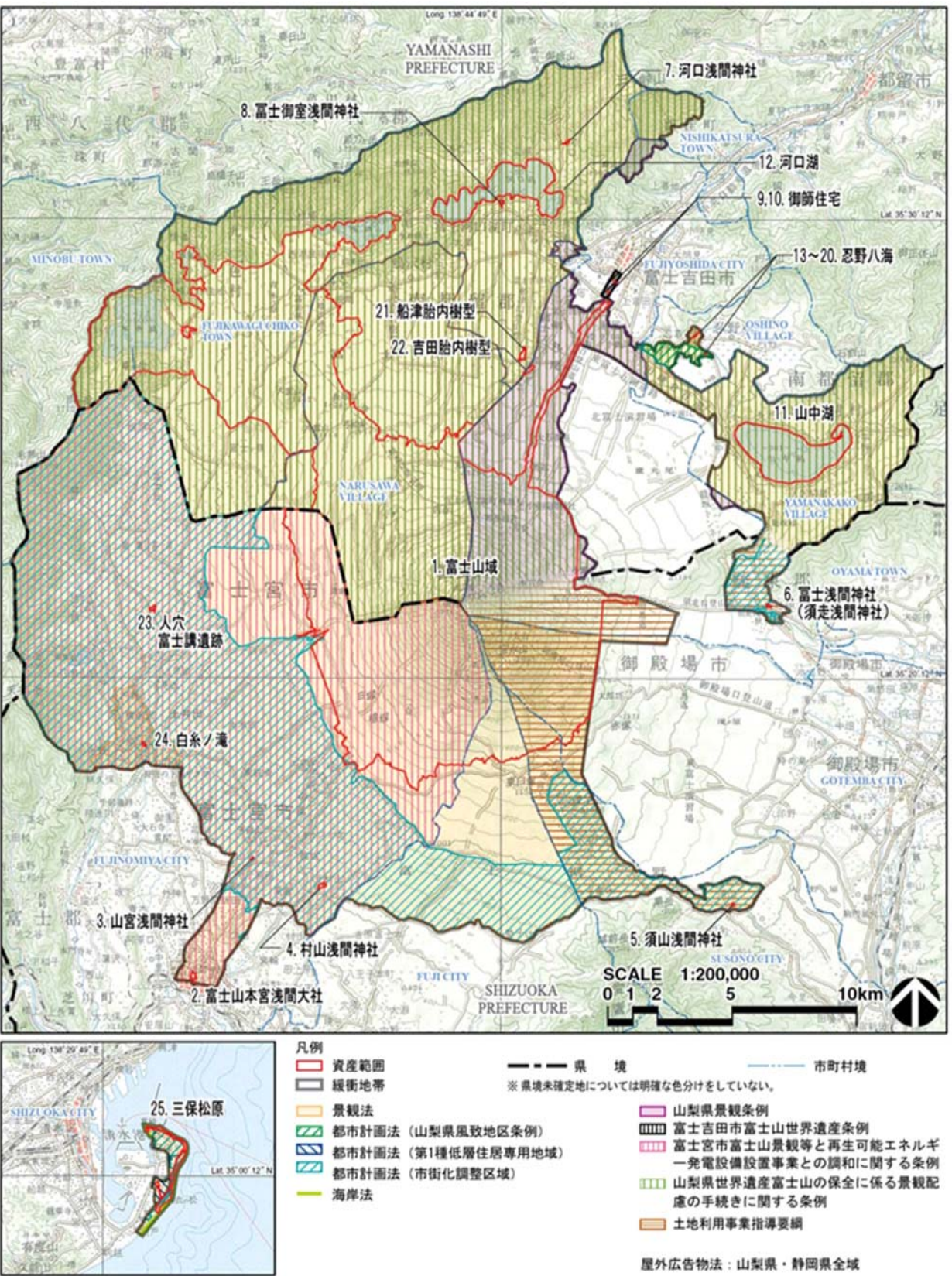
2 保護（指定等）状況

範囲

全体の法規制図 1



全体の法規制図 2



3 「資産及び周辺環境の保護」等に関する観察

資産及び周辺環境に対する負の影響		観察指標	指標の測定内容及び手法			周期	観察記録主体	今年度の結果	前年度の結果	補足説明
			概要	調査範囲	報告項目					
開発・都市基盤施設の整備による影響	1 都市基盤施設の整備による影響	a) 電線の地中化延長	電線の地中化の延長状況について把握する。	富士吉田市、身延町、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町、静岡市（三保松原周辺）、沼津市、三島市、富士宮市、富士市、御殿場市、裾野市、清水町、長泉町、小山町内で実施された事業	年度末の総延長距離(km) ※累計	毎年	山梨県 静岡県	48.61km	46.44km	これまでに電線地中化工事を施工した総延長距離を年度末時点で報告。
	2 酸性雨	b) 大気汚染に係る環境基準達成率（二酸化硫黄、窒素酸化物）	大気の常時監視を行い、大気の二酸化硫黄、窒素酸化物含有量を測定する。	一般環境大気測定局：富士吉田合同庁舎、富士宮市立山宮小学校、富士市立大淵中学校、裾野市民文化センター、御殿場市役所、静岡市立三保第一小学校	長期的評価による環境基準の適否	毎年	山梨県 静岡県	適	適	大気汚染防止法に基づき、大気汚染の常時監視を行っている構成資産周辺の一般環境大気測定局の数値を報告。
自然環境の変化	3 気候温暖化	c) 植生調査	1m×10mの永久方形枠に1m×1mのサブコドラート10個を設け、出現種、植被率等を記録する。	モニタリングサイト1000高山帯調査富士山サイトで設定された各プロット	富士山山頂周辺の維管束植物の植被率の最大値	おおよそ5年	環境省	—	1.7% (H23)	環境省生物多様性センターが全国で1,000ヶ所程度のモニタリングサイトを設置し、長期生態系の調査を行っている。
		d) 森林限界の変動	森林限界線に地点を定め、その位置の時間的変化を観測する。また、航空写真を用いて時間的変化を観測する。	—	—	おおよそ5年	試験研究機関			
		e) 気温の経年変化	大気の常時監視を行い、気温の変化を観測する。	富士山頂	年平均気温(日平均) ※単年	毎年	気象庁	-6.1℃	-6.8℃	(5年分を掲載) H〇年 〇℃ H〇年 〇℃ H〇年 〇℃
	4 野生動物及び病虫による影響	f) 森林の病虫獣害による被害面積	森林における病虫獣害による被害面積の把握を行う。	国有林並びに構成資産及び緩衝地帯に所在する市町村の森林	病虫獣害による被害面積 ※単年度	毎年	林野庁 山梨県 静岡県	病虫害 2,049.38ha 獣害 749.57ha	病虫害 2,050.1ha 獣害 603.9ha	病虫害被害による対策を行った。 H〇年 〇ha H〇年 〇ha H〇年 〇ha
		g) 火山活動の観測	地震計、傾斜計、GPS等による火山活動の観測を行う。	富士山の火山活動観測点が設置されている範囲	火山の活動状況 ※単年度	随時	気象庁 山梨県 静岡県 試験研究機関	0件	0件	
自然災害	6 土砂災害	h) 土砂災害・崩壊地形の調査	航空測量等により大沢崩れ周辺ほかの地形測量を行い、土砂災害・崩壊地形の調査を行う。	大沢崩れ	土砂流出量（千m³） ※単年度	随時	国土交通省	122千m³	82千m³	H〇年 〇千m³ H〇年 〇千m³ H〇年 〇千m³

資産及び周辺環境に対する負の影響		観察指標	指標の測定内容及び手法			周期	観察記録主体	今年度の結果	前年度の結果	補足説明
	7 地震	i) 前兆現象の観測	地震計、体積歪計、傾斜計等による前兆現象の観測を行う。	東海地域の地震・地殻変動の観測網の範囲	地震の前兆現象 ※単年度	随時	気象庁 山梨県 静岡県 試験研究機関	0 件	0 件	
	8 自然災害による建造物等や景観への影響	j) 文化財き損届件数	文化財のき損届の件数による被害の把握を行う。	構成資産内に所在する指定文化財	受理件数 ※単年度	毎年	山梨県 静岡県 市町村	2 件	1 件	修復済。
		k) 森林の風水害被害面積	風水害による森林の被害面積の把握を行う。	国有林並びに構成資産及び緩衝地帯に所在する市町村の森林	風害・水害による被害面積 ※単年度	毎年	林野庁 山梨県 静岡県	5, 754ha	2, 684ha	H○年 ○ha H○年 ○ha H○年 ○ha
	9 火災による景観への影響	l) 森林の火災被害面積	森林における火災による被害面積の把握を行う。	国有林並びに構成資産及び緩衝地帯に所在する市町村の森林	火災による被害面積 ※単年度	毎年	林野庁 山梨県 静岡県	43ha	53ha	H○年 ○ha H○年 ○ha H○年 ○ha
来訪者及び観光による影響	10 来訪者増加による建造物等や景観への影響	m) 主要地点への来訪者数	主要地点への来訪者数を把握する。	西湖・精進湖・本栖湖周辺、山中湖・忍野八海周辺、富士吉田・河口湖・三つ峠周辺、富士山本宮浅間大社周辺、白糸ノ滝、三保松原	年間の来訪者数 ※単年度または単年	毎年	山梨県 静岡県 市町	表 1		
		n) 五合目への来訪者数	各登山道の五合目への来訪者数を把握する。	吉田口登山道、富士宮口登山道、御殿場口登山道、須走口登山道	7・8月の来訪者数	毎年	山梨県 市町	表 2		
		o) 登山者数（八合目以上）	各登山道の八合目以上への来訪者数を把握する。	吉田口登山道、富士宮口登山道、御殿場口登山道、須走口登山道	7・8月の来訪者数	毎年	環境省	表 3		
		p) 自動車数	富士スバルライン、富士山スカイライン、ふじあざみラインにおける自動車数を把握する。	富士スバルライン、富士山スカイライン、ふじあざみライン	◎富士スバルライン マイカー規制期間、通行可能日数、利用台数、富士北麓駐車場入込台数 ◎富士山スカイライン マイカー規制期間、通行可能日数、片道通行台数、シャトルバス乗換駐車場入込台数 ◎ふじあざみライン マイカー規制期間、通行可能日数、シャトルバス乗換駐車場入込台数	毎年	山梨県 静岡県	表 4		

表 1
 主要地点への来訪者数
 単位：人

年	西湖・精進湖・本栖湖周辺 (暦年)	富士山本宮浅間大社周辺	山中湖・忍野八海周辺 (暦年)	富士吉田・河口湖・三つ峠周辺 (暦年)	白糸ノ滝	三保松原	合計
平成 23 年度	1,759,018 人	1,419,590 人	722,293 人	4,310,978 人	379,068 人	633,757 人	9,224,704 人
平成 24. 年度	1,845,813 人	1,513,223 人	799,648 人	5,159,333 人	353,888 人	625,026 人	10,296,931 人
平成 25 年度	2,247,081 人	1,619,000 人	906,026 人	5,760,806 人	437,635 人	1,564,788 人	12,535,336 人

表 2
 7・8月における各登山口五合目への来訪者数
 単位：人

年	現在の富士宮口登山道	現在の御殿場口登山道	須走口登山道	吉田口登山道（富士スバルライン）	合計
平成 23 年度	177,401 人	25,134 人	97,192 人	638,018 人	937,745 人
平成 24 年度	183,789 人	30,467 人	75,174 人	1,023,575 人	1,313,005 人
平成 25 年度	167,839 人	46,558 人	74,574 人	981,802 人	1,270,773 人

表 3
 7・8月における各登山口八合目登山者数
 単位：人

年	現在の富士宮口登山道	現在の御殿場口登山道	須走口登山道	吉田口登山道	合計
平成 23 年度	72,441 人	15,758 人	40,179 人	165,038 人	293,416 人
平成 24 年度	77,755 人	15,462 人	35,577 人	189,771 人	318,565 人
平成 25 年度	76,784 人	17,709 人	36,508 人	179,720 人	310,721 人

表 4
 自動車台数
 単位：日、台

年	富士スバルライン				富士山スカイライン				ふじあざみライン		
	通行規制日数	通行可能日数	利用台数	富士北麓駐車場 入込台数	通行規制日数	通行可能日数	片道通行台数	シャトルバス乗換駐車場 入込台数	通行規制日数	通行可能日数	シャトルバス乗換駐車場 入込台数
平成 23 年度	15 日	未入手	212,409 台	15,735 台	26 日	170 日	95,565 台	18,252 台	26 日	180 日	6,276 台
平成 24 年度	15 日	359 日	236,907 台	13,361 台	34 日	154 日	70,033 台	22,103 台	34 日	177 日	5,278 台
平成 25 年度	31 日	342 日	226,657 台	20,205 台	52 日	137 日	61,424 台	19,705 台	37 日	167 日	5,619 台

資産及び周辺環境に対する負の影響		観察指標	指標の測定内容及び手法			周期	観察記録主体	今年度の結果	前年度の結果	補足説明
			概要	調査範囲	報告項目					
各構成資産	1 建造物における火災	a) 防災設備の点検状況	防災設備の点検を行う。	北口本宮富士浅間神社、河口浅間神社、富士御室浅間神社、旧外川家住宅、小佐野家住宅、富士山本宮浅間大社、山宮浅間神社、村山浅間神社、須山浅間神社、富士浅間神社、人穴浅間神社、御穂神社	防火設備の状態 ※単年度	毎年	所有者 管理団体	3 件	3 件	防火設備の点検により、指摘のあった件数を報告。 指摘事項については、対応済
	2 建造物をはじめとする構成資産及び構成要素の劣化	b) 建造物をはじめとする構成資産及び構成要素の保全状況	建造物をはじめとする構成資産及び構成要素の巡視を行う。	構成資産及び構成要素内に所在する指定文化財	保全状況の良・否 ※単年度	毎年	山梨県 静岡県	否 0 件	否 0 件	
	3 湖沼・湧水の水質	c) 水質	湖沼（富士五湖）・湧水（忍野八海）の水質（pH、COD、有害物質等）測定を行う。	富士五湖、忍野八海	健康項目 26 項目	毎年	山梨県 町村	基準値内	基準値内	日本や WHO 等の国際機関において検討され、集約された科学的知見、関連する各種基準の設定状況を基に基準値を設定。
展望景観	4 景観変化	d) 定点観測地点からの展望景観の変化	定点観測地点において、視界に入り込む阻害要因について把握する。	中ノ倉峠、三保松原など計 36 箇所	視点場からの景観	毎年	山梨県 静岡県 市町村	阻害なし	阻害なし	各視点場において、年 1 ～3 回撮影を行う。 写真は別紙。

4 「顕著な普遍的価値の伝達」に関する観察

観察指標	指標の測定内容及び手法			周期	観察記録主体	今年度の結果	補足説明
	概要	調査範囲	報告項目				
a) 富士山に関する研修会等実施状況	富士山に関する様々な研修会・セミナーへの参加者数等を把握する。	県及び資産が所在する市町村内で実施した講座、講演会、学習会、野外観察	①開催年月日 ②行事名称 ③参加者数 など	毎年	山梨県 静岡県 市町村	表 5、表 6	
b) 環境保全活動の実施状況	富士山に関する環境保全活動への参加者数等を把握する。	資産及びその周辺地域で実施した森林整備又は美化清掃活動	①開催年月日 ②行事名称 ③参加者数 など	毎年	山梨県 静岡県 市町村	表 7	
c) 富士山信仰に関わる宗教行事の実施状況	富士山信仰に関わる主な宗教行事の実施回数、参加人数等を把握する。	河口浅間神社、北口本宮富士浅間神社、富士山本宮浅間大社、山宮浅間神社、村山浅間神社、須山浅間神社、富士浅間神社	①神事名 ②参加者数 ③行事内容 など	毎年	山梨県 静岡県 市町村	表 8	
d) パンフレット・ホームページによる情報提供数	パンフレット類及びホームページによる世界遺産富士山の顕著な普遍的価値及び保全に関する情報提供の状況について把握する。	県、市町村が発行するパンフレット等の出版物及びホームページ	①出版物の名称、規格、部数 ②ホームページの名称、アドレス、更新回数 など	毎年	山梨県 静岡県 市町村	表 9、10	
e) 顕著な普遍的価値に関する理解の状況	富士山の顕著な普遍的価値に関する来訪者の認知・理解度を測定する。	北口本宮富士浅間神社、富士山本宮浅間大社、道の駅なるさわなど約 20 箇所程度	顕著な普遍的価値の理解状況	毎年	山梨県 静岡県 市町村	16.1%	

表 5 富士山に関する研修会等実施状況（講演会、講座等）

名称	開催日	事業主体	参加者数	概要
三保松原の魅力のすべて	平成 26 年 1 月 19 日	静岡市	1,500 人	浅野温子氏一人紙芝居、近藤誠一氏講演会
登録記念講演会	平成 26 年 2 月 19 日	小山町	180 人	須山浅間神社と富士山須走口
世界文化遺産出前講座（マラソン大会参加者）	平成 25 年 6 月 22 日		200 人	世界文化遺産全般に関する講座
世界文化遺産出前講座（社会福祉協議会・自治会）	平成 25 年 8 月 1 日		100 人	世界文化遺産全般に関する講座
出前講座等	97 回	－	3,697 人	
合計			5,677 人	

※各県で参加者数上位 2 件を記載し、その他はまとめて記載。

表 6 富士山に関する研修会等実施状況（教育活動）

名称	開催日	事業主体	参加者数	概要
世界文化遺産出前講座（高校）	平成 25 年 1 2 月 3 日		278 人	世界文化遺産全般に関する講座
世界文化遺産出前講座（高校）	平成 25 年 1 2 月 4 日		280 人	世界文化遺産全般に関する講座
富士山検定	平成 26 年 2 月 21 日		2,000 人	自然、地質、気象、歴史、文化などあらゆる面から、富士山に関する知識を出題。
富士山の日出前講座	平成 26 年 2 月 25 日		420 人	世界文化遺産富士山と御殿場の文化財に関する講座
出前講座等	60 回	－	9,136 人	
合計			12,114 人	

※各県で参加者数上位 2 件を記載し、その他はまとめて記載。

表 7 環境保全活動の実施状況				
名称	開催日	事業主体	参加者数	概要
前期ク リーン作戦	平成 25 年 8 月 3 日	富士山をきれいにする会	1,800 人	ボランティア参加による清掃活動を実施
後期ク リーン作戦	平成 25 年 9 月 10 日	富士山をきれいにする会	350 人	ボランティア参加による清掃活動を実施
ク リーンアップ大作戦	平成 25 年 6 月 25 日	静岡市	3,000 人	広く市民に呼びかけ自由参加で清掃活動を実施
三保松原海岸一斉清掃	平成 25 年 11 月 10 日	静岡市	1,200 人	市と自治体が協働で清掃作業を実施
その他	15 回	－	3,498 人	
合計			9,848 人	

※各県で参加者数上位 2 件を記載し、その他はまとめて記載。

表 8 富士山信仰に関わる宗教行事の実施状況					
構成資産名	所在地	神事名	参加者数	伝承状況	変容内容
河口浅間神社	山梨県富士河口湖町	例大祭			
		太々御神楽祭			
北口本宮富士浅間神社	山梨県富士吉田市	夏越大祓式・開山前夜祭			
		開山祭			
		鎮火祭			
富士山本宮浅間大社	静岡県富士宮市	初申祭			
		開山祭			
		閉山祭			
		富士山山頂奥宮開山祭			
		富士山山頂奥宮閉山祭			
山宮浅間神社	静岡県富士宮市	初申祭			
		例祭			
村山浅間神社	静岡県富士宮市	開山祭			
		閉山祭			
須山浅間神社	静岡県裾野市	開山祭			
		閉山祭			
富士浅間神社	静岡県小山町	開山祭			
		閉山祭			

表 9 パンフレット等による情報提供数

名称	作成主体	規格・頁数	発行部数	言語	概要
照会中					
照会中					
三保松原	静岡市	A4・8 ページ	10,000 部	日本語	三保松原の歴史について
構成資産山宮	富士宮市	A4	20,000 部	日本語	山宮浅間神社の説明
富士山文化遺産ガイドブック等			124,000 部		

※各県で発行部数上位 2 件を記載し、その他はまとめて記載。

表 10 ホームページによる情報提供数

名称	作成主体	概要	アドレス	更新回数	アクセス数
世界遺産「富士山」の構成資産		構成資産 25 件のうち、市内にある 4 件を紹介	http://www.city.fujiyoshida.yamanashi.jp/forms/info/info.aspx?info_id=5301	調査中	
富士山世界遺産の概要-富士山の構成資産 忍野八海-		忍野八海を紹介	http://www.vill.oshino.lg.jp/docs/2013071200017/	調査中	
富士山世界文化遺産登録		世界遺産や登録までの経緯を紹介	http://www.town.fujikawaguchiko.lg.jp/ka/info.php?if_id=2040	調査中	
富士山一信仰の対象と芸術の源泉		世界遺産富士山の価値について紹介	http://www.city.susono.shizuoka.jp/ma/fuji/mtfuji-worldheritage.php	1 回	1,921 件
世界遺産富士山		世界遺産や富士山についての説明	http://www.city.fujinomiya.shizuoka.jp/fujisan/11ti2b000000gpth.html	15 回	
世界遺産登録記念事業等				29 回	

※各県で更新回数上位 2 件を記載し、その他はまとめて記載。

5 構成資産内の整備事業等の実施

事業名	事業概要	事業主体	開始年度	H○年度事業費(千円)	H○年度事業費(千円)	備考

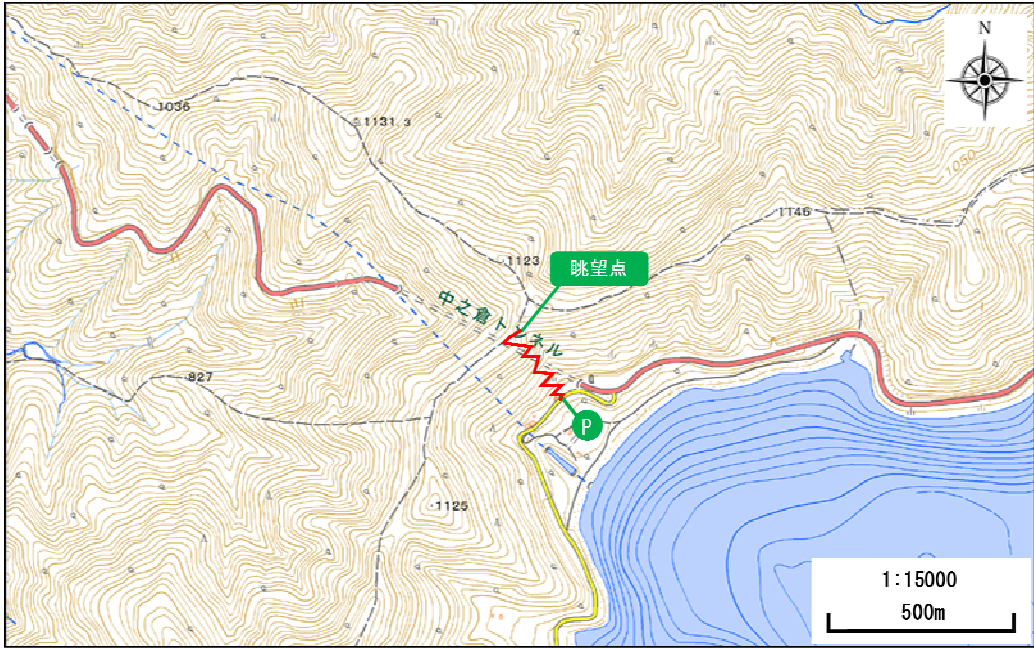
6 緩衝地帯における開発計画

所在地	法的規制の状況	事業主体	事業概要

7 総括（評価例）

- ・文化財のき損や防災設備の不良が見つかったが、すでに対応済であり、各構成資産及び構成要素に対する負の影響は認められない。
- ・36箇所定点観測地点において、大きな変化はなく、富士山への展望景観が守られている。
- ・行政及び各種団体により様々な取組が行われており、顕著な普遍的価値の理解促進、環境保全活動の促進が積極的に行われた。
- ・富士山信仰に関わる宗教行事は毎年行われており、着実に後世へと引き継がれている。

別紙 定点観測地点からの展望景観の変化

撮影 地点	(1) 本栖湖西北岸（中ノ倉峠）		(2) 三保松原	
				
	今年度	前年度	今年度	前年度
				
撮影	平成26年2月5日	平成24年4月13日	平成28年4月26日	平成27年1月29日
景観 変化	変化なし		変化なし	